グループホーム整備促進支援制度に係る体制概念図（案）

地域生活移行推進部会

〈制度の評価〉
○ グループホームの増加数、地域におけるグループホーム整備の取組状況等を**総合的に判断し、制度を評価**

○ 地域アドバイザーからの報告を基に、新規開設したグループホームの状況を評価し、**支援コーディネーターにフィードバック**

〈制度の方向性の決定〉
○ 制度の評価結果、地域ニーズ及び自立支援協議会における意見等を考慮し、**今後の制度の方向性**を決定

○ 当該方向性に基づいた支援策を実施するよう支援コーディネーターへ**指導・助言**

報告

指導
助言

支援コーディネーター会議

〈方向性に沿った支援策の企画〉
○ 地域生活移行推進部会の定めた**方向性に沿った支援策**を企画

○ **地域の実情**を踏まえた内容を検討
(説明会、見学会、相談会等)

〈支援策の実施〉
○ 新規開設希望者の**理解度に合わせた支援策**の実施（説明会⇒見学会⇒相談会）

○ 支援策は**より高い効果が見込まれる時期**に開催（説明会をサービス管理責任者研修の申込締切前に開催し、当該研修を周知）

〈地域支援〉
○ 市町村協議会や地域アドバイザーの派遣依頼に基づき、**協議会へ参画**

○ 地域における利用者向け説明会及び事業者向け研修会等に**講師として派遣**

報告

地域アドバイザー

〈開設後のモニタリング〉
○ 新規開設したグループホームが適正に運営されているか**モニタリング**を実施

○ モニタリング結果を**地域生活移行推進部会へ報告**

〈地域ニーズの報告〉
○ 地域への支援の中で、グループホーム開設の**ニーズを把握**

○ 把握したニーズは地域生活移行推進部会及び支援コーディネーターに報告し、地域の研修会等へ**支援コーディネーターを派遣**

〈制度の周知〉
○ 圏域会議等における関係機関・団体への**制度の周知**

○ **市町村協議会**においても「グループホーム整備促進」を取り上げるようはたらきかけを実施

連携

ニーズの吸い上げ

支援

【平成 26 年度グループホーム整備促進支援制度　支援策】
①説明会：グループホームの概要、グループホームの運営及びグループホームの指定基準をテーマとして開催
(参加者：270 名)
②見学会：「グループホーム見学」と「利用者支援に係るビデオ上映会」の２部構成で開催
(参加者：それぞれ 80 名、73 名)
③相談会：資金・収支計画、職員シフト、世話人の募集方法についてグループ相談形式で開催(参加者 14 名)

グループホーム新規開設希望者